

東部町文化協会だより

第 5 号

発行 63.12.20
東部町文化協会
印刷
東鉄印刷(株)

小林亜星先生の講演と

歌と踊りの発表会

七月二十三日作曲家でテレビ番組に人気のある小林亜星先生を招き、「歌は世につれ世は歌につれ」と題して楽しい講演会が四百余名

の参加で盛会に開かれ、戦後から今日までの繁栄の裏には、歌が私たちの心に生きる希望と勇気を与えてくれ、日本の復興の原動力で

あったことを話され共感を呼びました。

続いて田中公民館前特設ステージで、東部町のイメージソング、「ジャンピングトゥブ」の歌と踊りの発表会が楽しく行なわれ、来場者から盛んな拍手を受けました。



各部の活動と紹介



菊作り雑感

松澤 房視

菊作りの極意はまず土作りにあつて、最適な土壌を作るのが第一歩だといわれます。春の桜に秋の菊、四季を彩る花は多いがこの二つが人気の好一对だろう。例年菊薫る季節になると菊花展を催し、入選作を店頭、役所や家庭の玄関わきに展示され、出勤の途次に歩を止めて、あざやかな花の姿と気品高い香をめでるのは、またとない楽しみだ。菊の種類は千種

類に及ぶと言われ、形や色に千変万化の面白さがある。大菊懸崖盆栽作り仕立てにふさわしい小菊など、それぞれに興味深い。桜がぱっと咲き散り急ぐのと違って、菊は霜が降りるころまで悠揚と咲き続け、息長く楽しめるのも花の魅力の一つだと思います。菊作りは前年の秋山から枯葉を集めてきて土を作り、春の芽吹きから秋に至るまで、子供を育てるように手塩に掛けないと良い花は咲かない。見る目に美しい菊は食用としても結構なもので、その風味は捨てがたい。葉は天ぷらによし苦みを含む花卉の酔の物もおいしい。杯に黄菊など花卉を浮かべて飲む酒は、秋の風雅を一層深めてくれると思います。菊の花を見る楽しみはごく限られたものですので、真の楽しみは作ることにあります。一手掛ければ一に咲き、千手掛ければ千に咲きます。町菊花会に加入してそこで学ぶことが菊作の上達の早道です。

「菊づくり菊見る人はよその人」

舞踊部会

小松 久子

私共は、文化協会に加入し十四年目になります。最初の頃よりグループ数も多くなり、一番最盛期には、二十四グループになりましたが、高齢化について行けないとの事で、現在は二十グループで仕事の合間に時間をつくりだし、練習に精一杯張り自己の情操を豊かにし、健康で親睦の和を広げ普及を通じて、明るい社会づくりに少しでもお役に立てばと、町の老人福祉大会、農協祭、商工祭、老人会、文化祭にと、積極的に活動を続けております。

明年は発表会十回目に成ります



ので、古典物なども取り入れたいと思っております。尚発表会後の反省会に出ることは「舞台が暗い」とか、「引幕が一色しかなく明るい色にしてほしい」とか、「照明が暗い」との声が多いので早く明るい発表会が出来る舞台を希望し、十回目の成功を祈ります。発表会創設以来の懸案事項でもございました各流派をこえて、先生方に特別出演をしていただき、大変に勉強になりました。

来年の三月五日は、年間の練習の成果の発表の場として開催され、此の日の為に頑張っています。皆様おそろいで中央公民館へのお越をお待ちし、御案内申し上げます。

東部町俳壇について

石井 補人

朝日新聞の「天声人語」に詩人三万、歌人三十万、俳人三百万と出たことがあります。なお県下の俳句人口は千名を越えており、わが東部町もその例にもれず、文化協会にも、石楠・石榴・噴煙・柑橘の四句会があり、その外にも同好者がたくさんあって、それぞれの場に於いて句を楽しみ励んでお

られることは、ご同慶の至りです。次に、文化協会のご配慮によりまして「東部町俳壇」として、毎月四句会から選ばれた句を広く町民の皆さまのご批評とご指導を仰ぎたく公民館のロビーに展示してあります。

人形Aグループ

滝沢 みよ子

私達Aグループは高橋先生の御指導のもとに、人形作りを始め早六年になります。

わずか六名ですが押絵に、人形作りが大好きな仲好グループです。皆さん忙しい中をやりくりして、月二回の勉強会に精をだしております。小さい頃千代紙で姉さま人形を作って楽しんで、きれいに着飾った人形が自分で作れるなんて、夢の様で嬉しいものです。皆さん熱心で一寸したヒントを生じてむずかしい作品に

挑戦はするものの、やはり人形の命は顔、髪で大変むずかしくて、何年たっても先生にお世話になるばかりです。たまには温泉に一泊で出掛け友情をあたためており、和やかで楽しく良いグループで



す。これからもあせらず健康に気を付け、お互い助け合って高橋先生の御指導をいただきながら、よりよい作品を勉強して行きたいと思っております。これもひとえに文化協会の皆様のお陰と深く感謝しております。

藤 春 会

佐藤 通子

昭和五十九年、町公民館主催の教養講座終了後、「藤手芸を続けていきたい」「もっと藤の作品を作りたい」という人達が「藤春会」を結成、山口春香先生の御指導のもと月二回中央公民館で楽しみながら勉強して四年になります。何でも、お金を出せば手に入る

昨今ですが、一本の簾から型を作って行く、世界に一つしかない手作りの作品ということで作品が出来上がった時は何ともいいようのない喜びです。出来上がった作品は皆で批評し合い楽しんでいきます。又毎月一回わずかな時間ですがお茶飲み会をし、和気あいあいと雑談をしながら、人生経験豊かな先輩からいろいろと教えて頂いて簾だけでなく、こちらの方も大変勉強になります。これからも楽しみながら来年の文化祭に向けて頑張っていきたいと思えます。



書道部会

白鳥 正志

本年度は全部で十のグループで発足しました。部会としての特別な活動はまだ出来るどころままでに至って居りません。総合文化展の作品展示が唯一の年間行事です。それぞれの歴史を持ち、考え方を持った活動している各グループが、また個人が、作品を出しあうて大家、小家を云々するのでなく、和やかな雰囲気の中で、一年間の成果を楽しむ、そんな気持を大事にして行きたいものである、と皆で話し合っています。

お陰さまで、本年は格別にもすきりしたよい展示ができたのではないかとお互いに喜んで居るところです。それには事務局の係の方が細かい配慮のもとに備品など配ってくださった事が大きいと思います。

からくさ会

小林 俊子

公民館の教養講座で、レザークラフトが始まって三年目を数えます。その二年目に学んだ有志が、「からくさ会」というグループを作って、六十三年度から文化協会に加入させて頂き、現在九名で、月二回ずつ、公民館をお借りして実習に励んでいます。



何事もコツコツと根気よく続ける事が大事ですが、レザークラフト(革工芸)も全くその通りで、バックひとつ作るのに何カ月もかかるしまつです。それだけに、牛革の裁断から仕上げまで、自分の手で創り出した喜びはひとしおで、世界にただ一つの作品と、惜しめない愛着を覚えるようです。十一月の第五回総合文化展には初参加させて頂き、出品四十八点の出来栄ははいまいちの感じも残りましたが、みんなの心がひとつになって文化展に臨んだ事は、何よりの収穫だったと思えます。

写団SFCの紹介

佐藤 利秋

我々写団SFCは、月一回二十五日を例会の日と定め、各自の作品を持ち寄って、互選に依り順位を決定致します。年間最高点より五位迄の人にトロフィー及び賞状、賞品等を贈呈致しております。

作品は、誰が見ても楽しめるもので、最も身近な題材の中より、家族や風景、そして各地区のお祭りや行事等を主として撮影したものです。会員はそれぞれ勤務先など違っ

た者同志の集まりですが、皆大変仲良しで、月一回の例会に会っては、写真談義に花を咲かせ、又諸々の世間話に、時間のたつのも忘れて話し合っております。

年に一、二度撮影旅行を一泊で行いますが、それが、又皆の楽しみみ様の様です。今年合掌造りの白川郷でどぶろく祭りを撮影し、五加山の民宿にて宿泊し、イロリを囲んで岩魚料理に舌づつみを打って、その上キジ鍋料理の大歓迎を受け、今迄中で最高だったと大満足でした。これから白川郷だけのコンテストを行う予定で、賞品も沢山に目下用意中です。会員の出入りもありましたが、こんなに永く続くとは思ってもおりませんで



した。会員には特別サービスの制度も設けてありますので、入会御希望の方は、サトウ迄お申し込みください。

合唱部会

中村 新吾

合唱部会では本年三月、山びこ合唱団が三十五周年記念演奏会を、五月に東部町混声合唱団が創立八年、第四回演奏会、そして十一月に本海野水曜会が二十周年記念演奏会と、それぞれ男声、混声、

女声合唱と特色ある演奏を披露し、聴いた人々に感動と歌の楽しさ、和声のおもしろさをあげわけてもらえたと思います。そして十月の町音楽祭には傘下の九合唱団が参加し持ちあじを出し演奏をしました。又、都会全体の協力で、九月に第八回クラシックコンサートを、日本を代表する演奏家による世界の名曲の数々を、会場いっぱい皆さんと共に聴くことができ、音楽の美しさ、本当の音楽のすばらしさにひたる事が出来た一夜でした。

古文書研究会

宮坂 高

「三人寄れば文珠の知恵」というが、現在とは字体、文体、用語のちがう難解な古文書の学習は、大勢で読み合うことが何よりもだいいじであり、またいろいろと理解も深まるものである。

東部町は、古い歴史と文化に恵まれた地で、数多くの古文書があり、私達のグループは歴史のロマンを求めて、楽しく古文書の読解にとりこんでいる。

また、古文書の学習は、単に読

茶の湯について

表千家 寺島 郁代

むだけでなく、歴史的な前提や背景を理解することが必要であり、そのためには、時代についての正確な知識が要求される。そしてこのことが、郷土を知ることにつながるので、いっそう興味を高めてくれるのである。同好の皆様方の参加を期待しています。

茶の湯は四百年以上の古い歴史の上にその折々の世情によって、新しい工夫を加えて今日にいたりました。眞の茶の心とは相対する



相手の心をくみとり、ゆとりある心をもってこそと思います。

一席終わってしまえば形の上には何も残りません。しかし心の中に残るもの、醍醐味と云いますか、この次には尚いっそうの勉強をとお考えようになります。

東部町で茶道教室が始まったころは、今のような公民館はありませんでした。古い役場の片すみで又田中区の公民館をお借りしたり、東部中学校を使わせていただきました。

只今は色々とい施設が次々とできてまいりまして、文化活動が盛んになってまいりました。

私達茶道教室も年々その仲間がふえてまいりました。家庭の主婦や又職業を持っておられる方々も年々増加しております。

お茶は表面に、はでにあらわれませんが精神的の面にプラスの事が多いと思います。仲間との連携

囲碁のすすめ

囲碁クラブ 中沢 喜雄

皆さん囲碁をやりませんか。囲碁は長寿の秘訣と言われます。適当に頭を使うことと指先で碁石をつかむのがいいようです。碁を打つ老人にボケはないと言われています。囲碁はたった五分で覚えら



が強くなり心にうるおいが出てまいります。

只今は町の方々が趣味の方面その他色々個人活動が盛んになってまいりました。

東部町の文化活動がますます発展致します様に願っております。

れるとても楽しい趣味です。金もかからないし天候にも左右されません。覚えたい方は隔月に中央公民館での碁会に来てください。碁会については電話六二一〇一九八の当部幹事長吉沢亨氏に御連絡ください。

当部は下村細萱氏等有志の方々の肝入りで、日本棋院東部町支部として発足し漸次発展し、県下各地の大会に、多くの選手を送り立派な成績を納めています。役員の活躍で円滑な部活動が推進されていますので多くの方の参加を望みます。

吟詠 諸感

深町 太郎

吟詠には和漢詩と中国詩が一般に吟じられて居ります。中国詩を吟じ、詩文の内容など勉強して、中国盛唐時代の李白、杜甫、白居易

易など有名な詩は、当時の人情、影難、又人の別れ、悲しみが良く表現されて居ります。千年も前、我が国、万葉の時代、国は違っても現代に通ずる面もあり学ぶ所が数多くあります。絶句には五言(四行二十文字)と、七言(四行二十八文字)の二種があり、他に

行の長い詩文の律詩もあり、詩の体形に少し振れましたが、普通吟詠には絶句が多く詠じられて居ります。絶句は前に申し上げた通り短い詩文に、作者の詩の心が大変上手に表現されて居り驚くばかりです。日本詩にても、頼山陽、乃木希典、西郷南州など詩文も、詩中の人格、時代感、又詩のポイントの表現は誠に意義深く表われ非常に感銘を与えてくれます。吟じる者にとって如何に奥行の深い事を痛感致します。戦後の高度成長により、社会経済その他、種々の

発展は誠にすばらしいものがあります。現代人は過去経験しなかつた豊かな生活を享受して居りますが、人々のふれあい、うるおいある生活と精神的豊かさが失われ最近日本の古きよいものが求められていると思えます。世界の状況は激動の時代、此の様な時吟詠はすばらしい芸術であり、我が国の文化精神の高揚に寄与する所大いな

るものがあると思ひ、縁あって吟詠の道に入って大変よかつた感ずる今日此の頃です。

「謠曲との出会い」

三室公人

子供の頃、今は亡き父が、休日になると一人で謠本を前に、謠曲を唸っている姿を思い出します。古い趣味だと思ひながら、教えてもらう事もなく、過ぎてしまいました。

約十数年前程前に、丸子の公民館活動で、妻と共に謠曲を教えてもらう機会があり、これが謠曲との出会いでした。先生の様に声が出ず苦労しました。東部町に移り、開業以来しばらく途絶えていましたが、文化協会主催の謠曲の生徒募集があり、早速再出発のつもりで入門させてもらい、担当の掛川先生に御指導頂いています。熱心に教えてくださる先生にとっては、優秀な生徒ではありませんが上達したい気持ちは、人に負けないつもりです。しかし何十年も声を磨いていらっしやる先生には、なか／＼近づき難い壁を感じます。我々の日常生活の中に、古典芸術に接する事の出来るのは、確か

に時代の差はありますが、日本文化の重さを知る事が出来ます。我々現代人は此の伝統を、少しでも次の世代に伝える義務がある様に思っています。

謠曲との出会いは、私達夫婦の

グルーブの紹介

東陶会 荻原 成人

わたし達のグルーブは、クラブ員男二人、女三人。毎月第一、第三月曜日に午前十時から午後五時まで、山崎良徳先生ご指導のもとで陶芸を勉強しています。

教室の雰囲気もにぎやかで楽しく、真剣な作陶作業の中にも笑い



趣味としての出発でしたが、同期の皆さんと共に、コツ／＼と練習を重ねつつ、グルーブの親睦を計り、先生を中心に観世流の謠曲の輪をます／＼大きく広げて行きたいと思っています。

声もときには起こって明るい教室です。同志が集まり交流を図り友情を温めるグルーブ活動の意義は十分認めたいものです。窯入れ後は焼き上がりには思いをよせながら、不安と期待が交錯しますが、陶芸を通じて豊かな心を育てるのも楽しみの一つです。陶芸の勉強をはじめて六年目になりますが、仲々よい作品ができませんが一生懸命努力しています。

木彫「華洋会」

横山 多香子

木彫の華洋会は、ダンディーナ近喰先生の御指導のもと、誠に面倒見の良い依田会長さん始め、心くばりの良い方々で楽しい教室です。

関さんや佐藤さんのお宅の車で送迎して頂いてお陰様で長つづきして居ります。

中でも藤森女史は御高令にもめげず、すばらしい力量をもって居

られますし、若い方達ともお話出来て私の様な年寄りには大変勉強になります。

又作品に手を入れてくださる先生のお手元を見てはプロのきびしさと巧みさに見とれたり、みんな先生のお手の入った作品でも仕上がった時は、鬼の首でも取った程にうれしくなったり、毎回時のたつのも忘れる程楽しく勉強して居ります。

会長さんの肝入りで年二回程研修旅行に連れて行って頂きます。

教養講座に参加して

いけばな教室

松井 房子

いけばな教室も六ヶ月たち毎月二回皆様にお会いするのが楽しみです。異なった部落の会員がお互に打ちとけて和気あいあいと勉強しております。嫁姑、親子、姉妹、会社の友達といった人達のほゞ笑ましくも楽しいグルーブです。会員の皆様の真剣に生ける姿に接しますと、私の身も心も引き締まる思いです。私の願いは、皆様が花

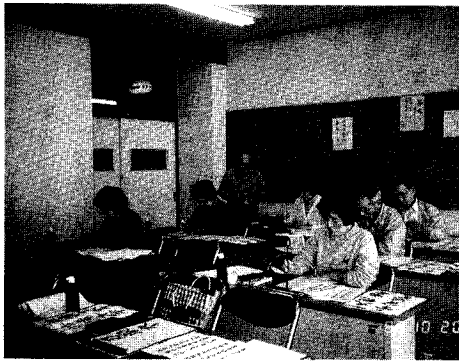


そのものの美を発見し、その表現方法を見出していただきたい事と、又家庭でもその場にふさわしい花が生けられるようにという事です。このことを念じつつ皆様と勉強に励みたいと思っております。

書道教室

萩原 けさみ

十四名の参加申し込みでしたが、今は十名ぐらゐの出席で、先生からいただく数枚のお手本で、頑張っております。早くも半年を過ぎてしまいました。私自身まだ、書道の入口に立っているばかりですので、一年で終了ではなく、せめて二年ぐらゐ、じっくり教えていただけたらと、思っております。



りましたら皆さんからも、そんな声聞かれました。生徒さんの中でも、練習されている方は、めきめき上達されていますので、私も、此のせわしく過ぎ去っていく毎日だからこそ、静かに書に親しむ時間を持ちたい。今はとてもとても思うように書けず、苦しんでいますが、そんな時が来るよう頑張りたいと思っておりますので、先生はじめ、皆さん、お願いいたします。

ちぎり絵教室

稲富 俊子

何か良い趣味を身につけたいと、考えて居りましたところ教養講座の募集があり、ちぎり絵に興味がありましたので、早速申し込み四月から習い始めました。早いもので、もう七ヶ月過ぎました。

柳沢先生の熱心な御指導を頂きましてもなかなか思うような作品が出来ず、途中でなげ出したと思つた事もいく度かありましたが、頑張つてこゝまで来ました。苦勞して仕上がった一枚一枚の絵に愛着を感じます。草木染のやわらかさ、深みがあつて紙を染めて張つた作品とは思えません。油絵の様な出来ばえです。今まで感じ

なかつた空の色、雲のうごき、水の流れにも観察する様になりました。この次に張る作品は何だろうと、楽しみです。作品展を見て感動してちぎり絵に入った人が大勢います。仕上がつた時のうれしさ、又お友達との交流、この会に入つてよかつたと言われる人達ばかりの仲間です。午後一時から四時までですが三時間と言う時間がまたたく間に過ぎてしまいます。そのうち草木染が自分達の手で染め上げ、色々な作品を描ける事を考え、夢が大きく広がつて行きます。ちぎり絵を習いたいと言う

あみもの教室

小林 ふみ



方が大勢いらつしやると思っていますので、この講座が長く続くようにお願ひします。



昨年度の展覧会に見せてもらった見事な作品に魅せられ、近所の友達と誘ひ合つて編物教室に参加しました。まず基礎あみから始まり、次に製図と云う新しい勉強を教えていただき、今まで編んできたものと異なり、製図によつてそれぞれの体型に合つた作品が出来たことを知り、この教室に入つてよかつたつくづく感じました。月二回の教室日も先生を中心とした和気あいあいの中で、時間のすぎるのが惜しく又家に帰つてからも、今までのお茶のみ会が編物を通しての集まりとなつたのも、大きな収穫の一つです。

これからもこの製図を基に、よい作品の出来ることをたのしみに、自身をもった編物をつづけていきたいと思っています。

藤手芸教室

矢島 利子

今春、町公民館主催の教養講座、「藤手芸教室」に参加させていただき、多勢の教室生の仲間と一緒に勉強させていただいております。教室は、月二回、山口先生のやさしくわかりやすい御指導のもとで、

藤手芸の基礎から、一つ一つ作品を実際に仕上げながら、いろいろな種類の編み方、止め方等を、正確に、きれいに仕上がる様に教えていただいております。皆同じものを作るのですが、なかなか思う様に手が運ばず、出来た作品は十人十色、同じ様に教えていただいているのに仕上がりは皆少しづつ違っております。それぞれの良さを見出して、和気あいあい楽しい一時を過ごしております。これからも、いろいろむずかしい作品に挑戦してみたいと教室生一同張りきって、頑張っております。

パン粘土教室

関 諦 子

六十三年度始めて開校されたパン粘土教室、「この人形、パン粘土で作られた物なのよ」と前に見た事があり、パンというイメージからこんなすてきな作品がどうして、と不思議でなりません。教養講座で教えていただけると知り心を踊らせて入校致しました。月の第二、第四水曜日、一時から四時迄の三時間、若林みどり先生と二十四名の生徒で始められた教室で「子供の頃を思い出し楽

しいわね」とほがらかな雰囲気が始まりました。ハンディクラフト用粘土にカラー粘土を加え、細工



棒、葉型等の道具を使い、仕上げに油絵の具でつやをつけ出来上がりますが、指先の器用さが要求されます。ミニフルーツ、コサージュ、バラ、等を作りましたが、一作ごとに色々なセンスが要求されました。とても大変な事だと思い知りました。それに同じ物を作っても、色の出し方、型の取り方等で違った感じに仕上がります。制作過程は大変ですが、それだけに出来上がった作品をみていとも楽しみです。オリジナルな物で胸を飾り、部屋を飾る事が出来るなんて、心が豊になる思いです。

お知らせ

文化協会加盟の各団体が各々、一年間の勉強の成果を町中央公民館において次の予定で発表します。町民の多くの皆さんが、ご来場くださるようお願いしております。

◎東部町美術会展覧会
二月二十四日(金)～二十六日(日)
(AM 9～PM 5)

◎合唱祭 二月二十五日(土)

◎民謡祭 二月二十六日(日)

◎人形発表会 三月四日(土)
～五日(日) (AM 9～PM 5)

◎舞踊祭 三月五日(日)

※合唱祭は夜七時～九時
民謡及び舞踊は午前十時～四時

編集後記

年の瀬を迎え皆さん何かとお忙しい毎日をお過ごしのことと思えます。

文化協会だより第5号はなるべく多くの方々の意見を載せたいという事で、文化協会の会員、教養講座の受講生から投稿していた

だき発行することができました。関係者の皆さんには、編集委員一同心より感謝申し上げます。次回からは新しい皆さんからの投稿をお待ちしております。

尚各部会は役員会を開き新しい部会長さんを選考し、一月中旬に事務局までお知らせください。

(編集委員一同)